

豊川市総合保健センター（仮称） 設計説明書

令和6年3月



鳥瞰（北東側）



外観（北西側）



内観（1階エントランスホール）

計画概要

建築概要

用途	保健センター、休日夜間急病診療所、三師会事務局、児童発達支援センター
延床面積	1階：3,536.52㎡ 2階：1,725.81㎡ 合計：5,262.33㎡（別棟の底は含まず）
主要構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上2階



北東側鳥観イメージ

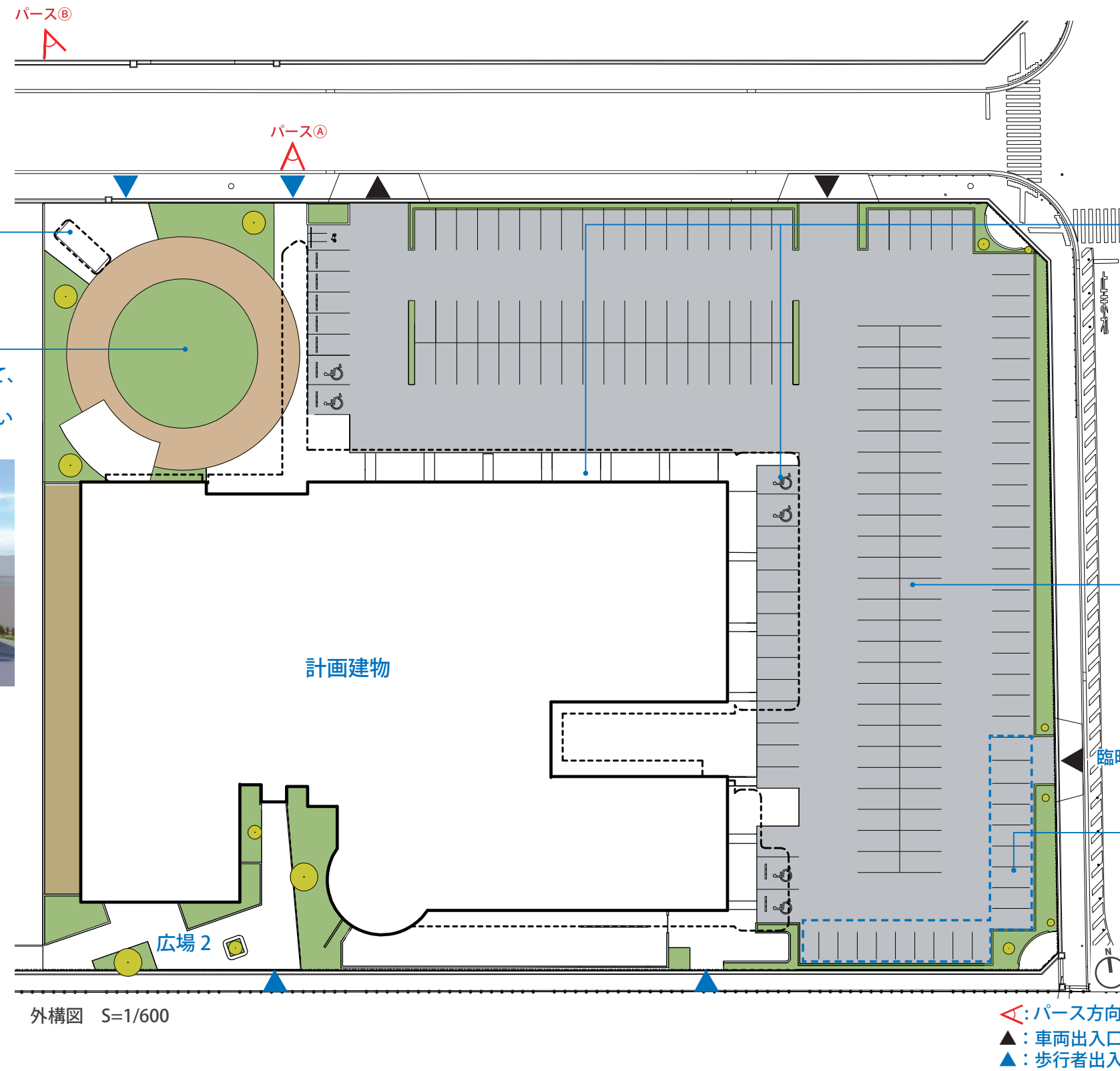
機能別面積

機能 (面積)	保健センター				休日夜間 急病診療所 (716.09㎡)	三師会事務局 (561.95㎡)	児童発達支援 センター (722.57㎡)
	事務エリア (1,539.87㎡)	健診エリア (576.02㎡)	研修室 (295.83㎡)	共用部 (849.97㎡)			
主要室 (面積)	事務エリア (587㎡) 多目的室 (165㎡) 赤ちゃんの駅 (15㎡)	待合ロビー (227㎡) 予診スペース (49㎡) 計測スペース (34㎡) 診察スペース 1,2 (23㎡) 歯科健診・ 歯科相談 スペース (27㎡)	研修室1、2 (249㎡)	1階エントラ ンスホール (232㎡) 2階廊下・ 渡り廊下 (311㎡)	待合(医科) (70㎡) 診察室1~3 (40㎡) 処置室 (30㎡) 待合(歯科) (37㎡) 歯科診察 処置室1~3 (35㎡)	事務室 (医師会・ 歯科医師会・ 薬剤師会) (119㎡) 衛生検査室 1,2 (86㎡)	多目的室 (58㎡) 指導訓練室 1~3 (113㎡) 遊戯室 (101㎡) ランチルーム (45㎡)

※求積による端数処理のため、建築概要の延床面積と機能別面積の合計値に差が生じます。



敷地案内図



広場1

総合保健センター（仮称）のメインアプローチとして、中心の芝生をアスファルト舗装による円形の歩行者通路で囲み、子どもから大人まで親しみやすいイメージとした広場



パース① 外観イメージ

庇
幅 3 m～7.4 mの庇と照度の高い光源により、健診やドライブスルー診察を天候に左右されず実施可能



パース② 北西側鳥瞰イメージ

駐車場

一般 171台（公用車駐車場19台を含む）
思いやり 6台

臨時

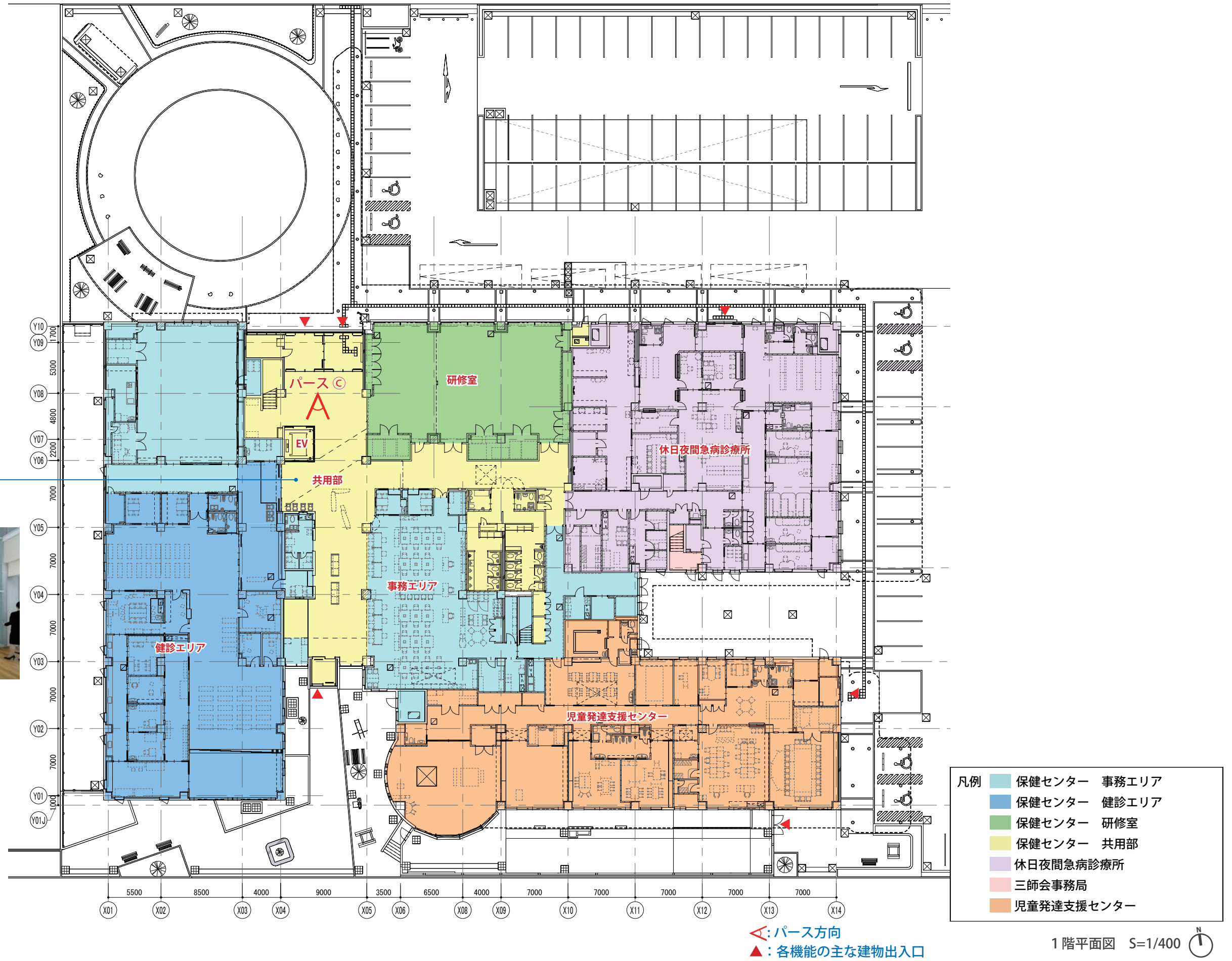
公用車駐車場

各階平面図

各機能間を円滑につなぐことができる合理的な面積で、必要な換気や採光が可能となるエントランスホール

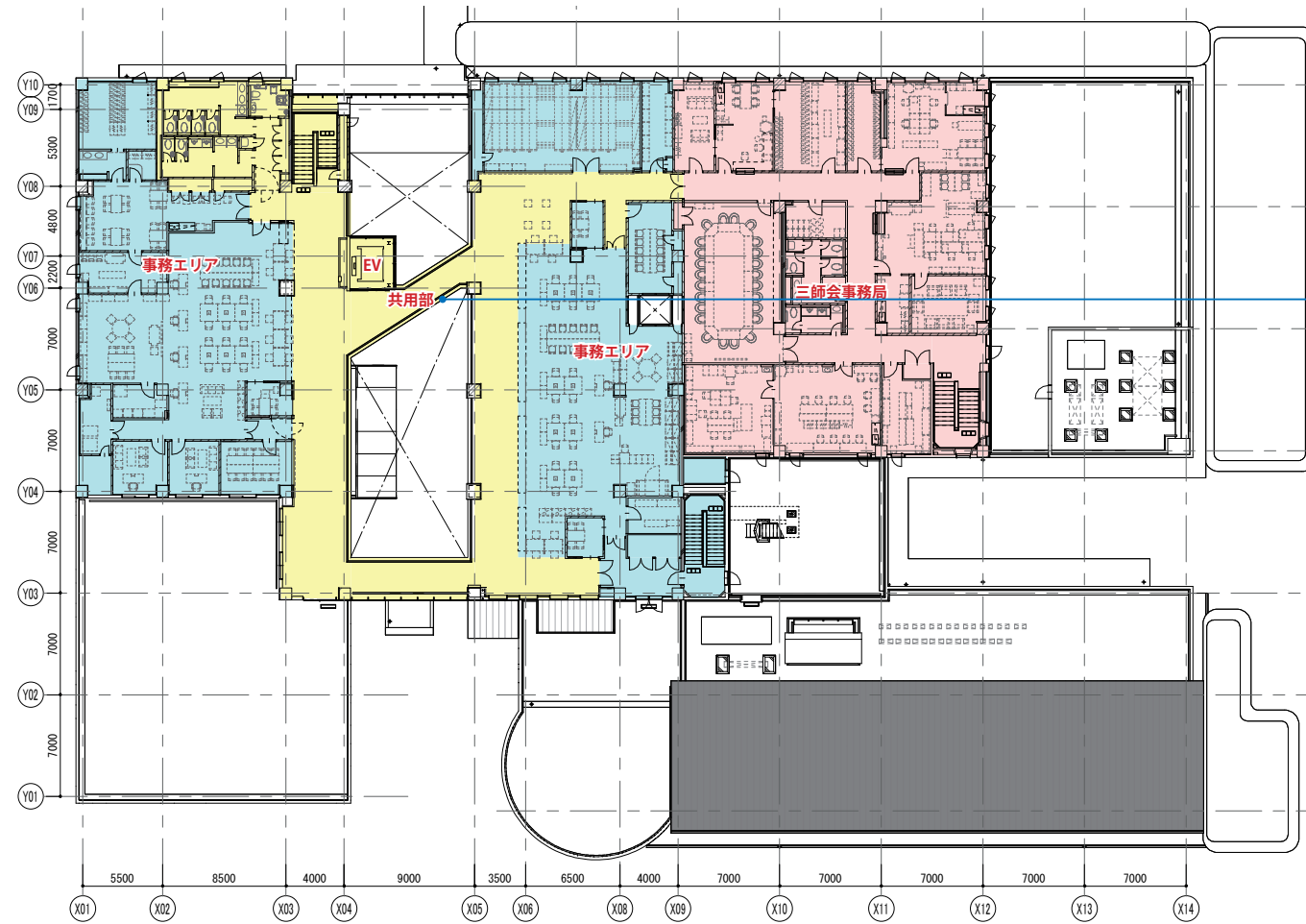


パスC エントランスホールイメージ



◀: パスC方向
▲: 各機能の主な建物出入口

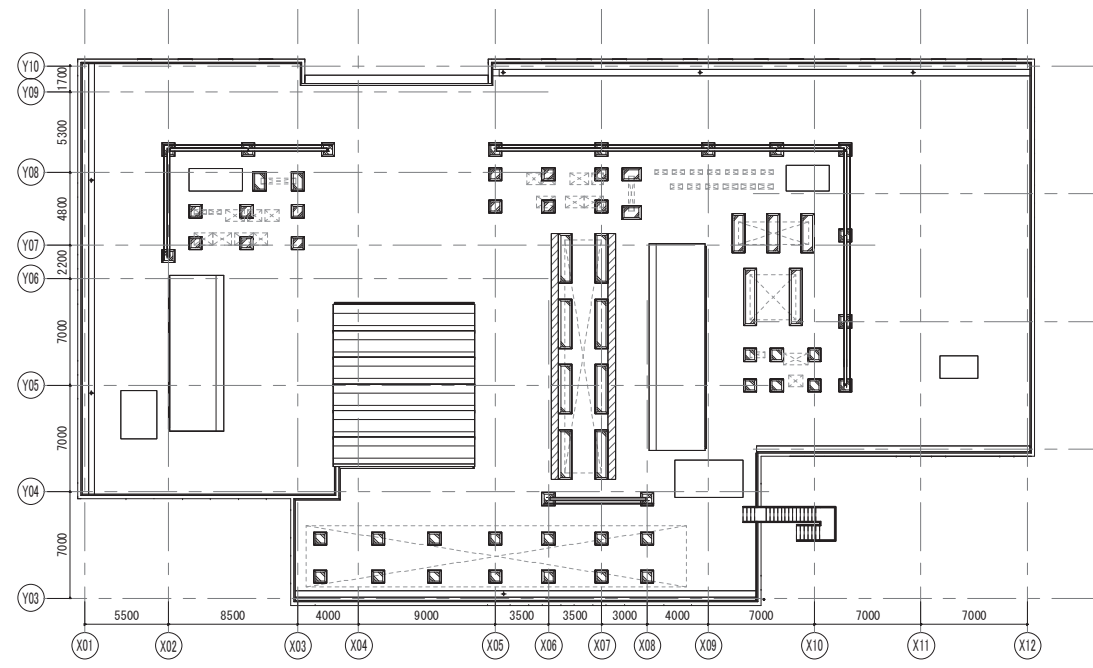
1階平面図 S=1/400



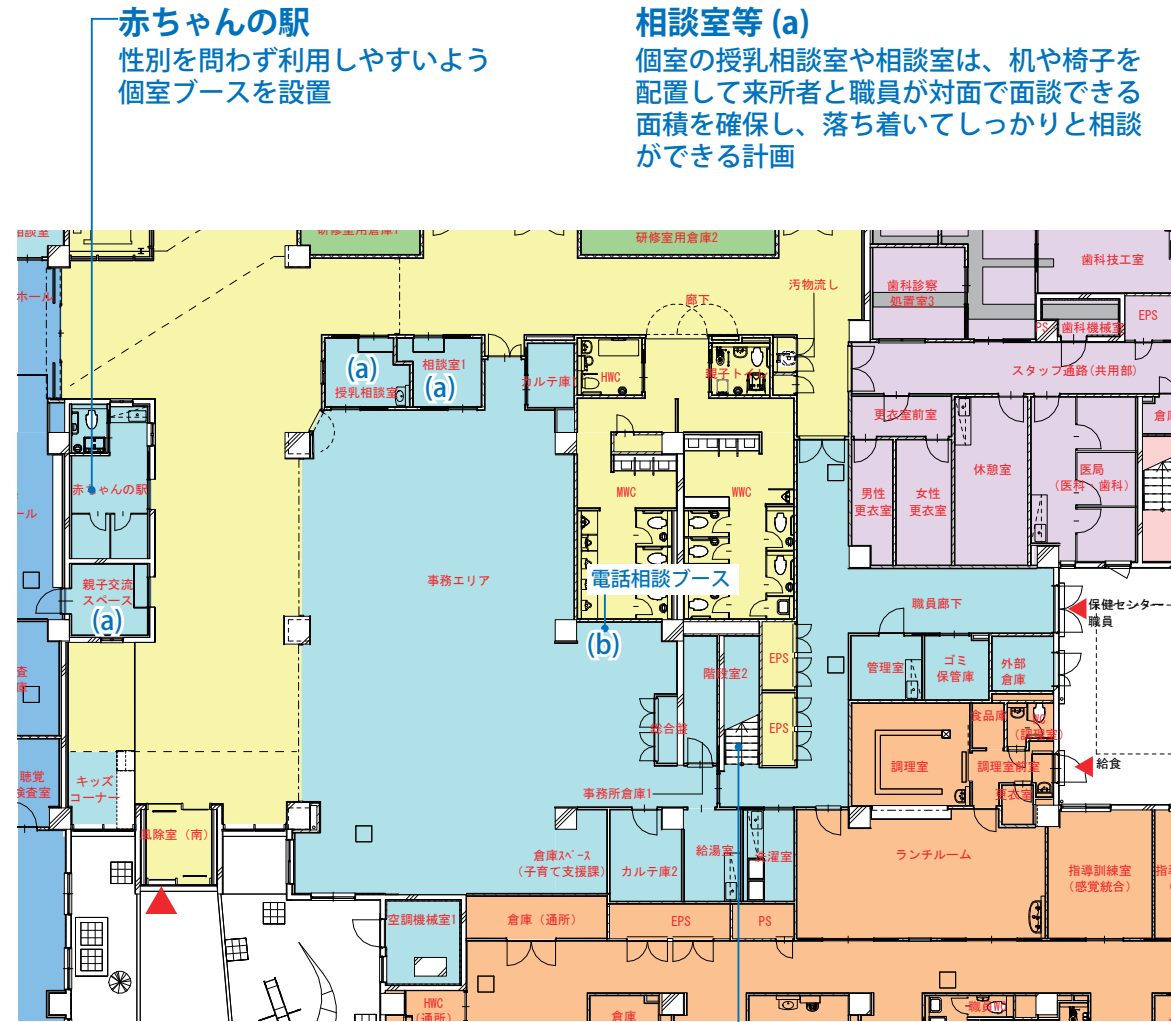
1階主出入口近くから、スムーズに2階の連絡通路にアプローチできる視認性の高いエレベーターと、東西事務エリアの連携を高める回遊性の高い渡り廊下を設置

凡例	色	機能
■	水色	保健センター 事務エリア
■	青色	保健センター 健診エリア
■	緑色	保健センター 研修室
■	黄色	保健センター 共用部
■	紫色	休日夜間急病診療所
■	桃色	三師会事務局
■	オレンジ	児童発達支援センター

2階平面図 S=1/500



屋根伏図 S=1/500

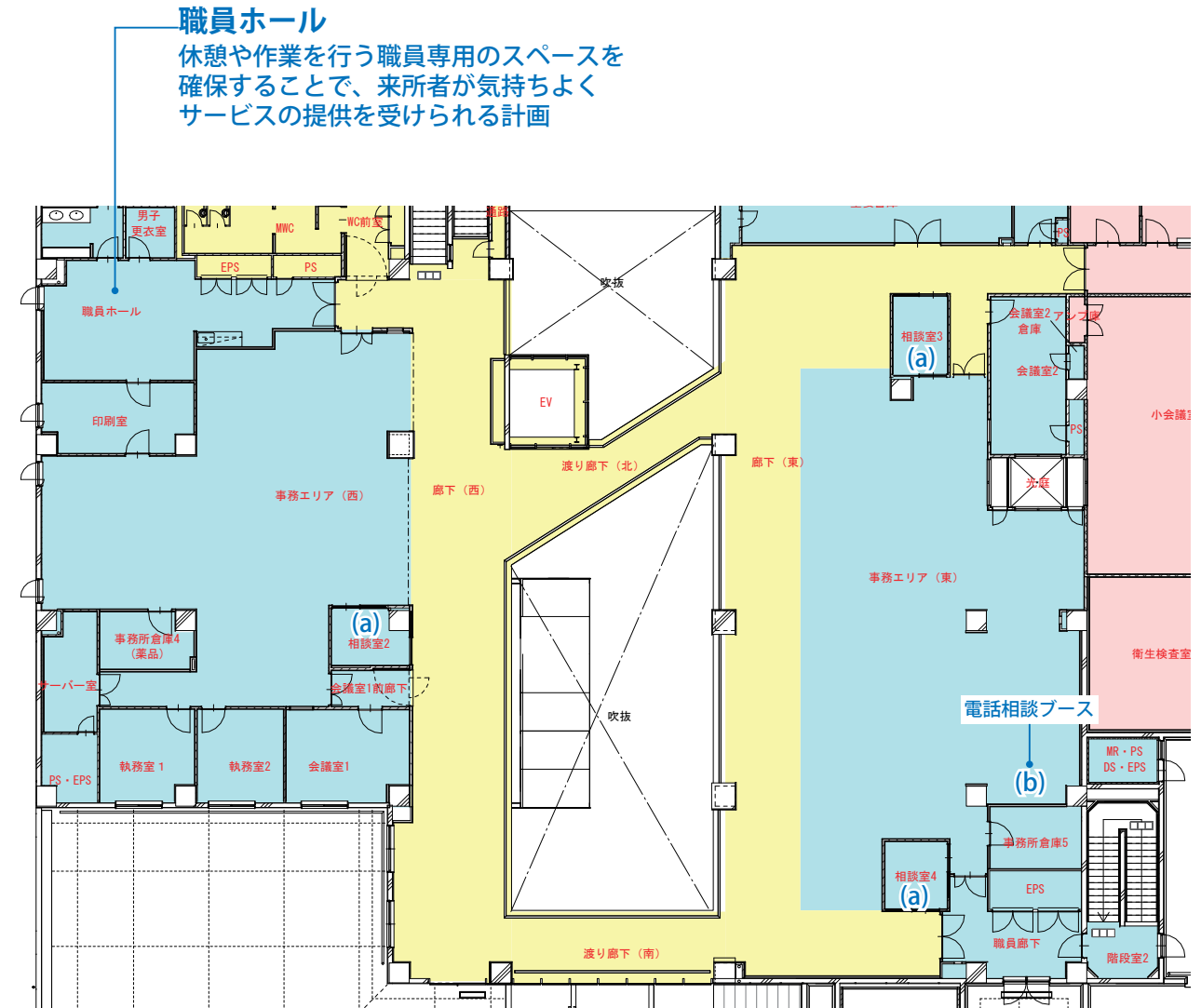


赤ちゃんの駅
性別を問わず利用しやすいよう
個室ブースを設置

相談室等 (a)
個室の授乳相談室や相談室は、机や椅子を
配置して来所者と職員が対面で面談できる
面積を確保し、落ち着いてしっかりと相談
ができる計画

職員専用階段
1・2階の事務エリアをつなぐ
階段により迅速な意思決定を促す

1階事務エリア平面図 S=1/300



職員ホール
休憩や作業を行う職員専用のスペースを
確保することで、来所者が気持ちよく
サービスの提供を受けられる計画

電話相談ブース (b)
電話等による個別の相談にしっかり対応できる
電話相談ブースを設置

2階事務エリア平面図 S=1/300

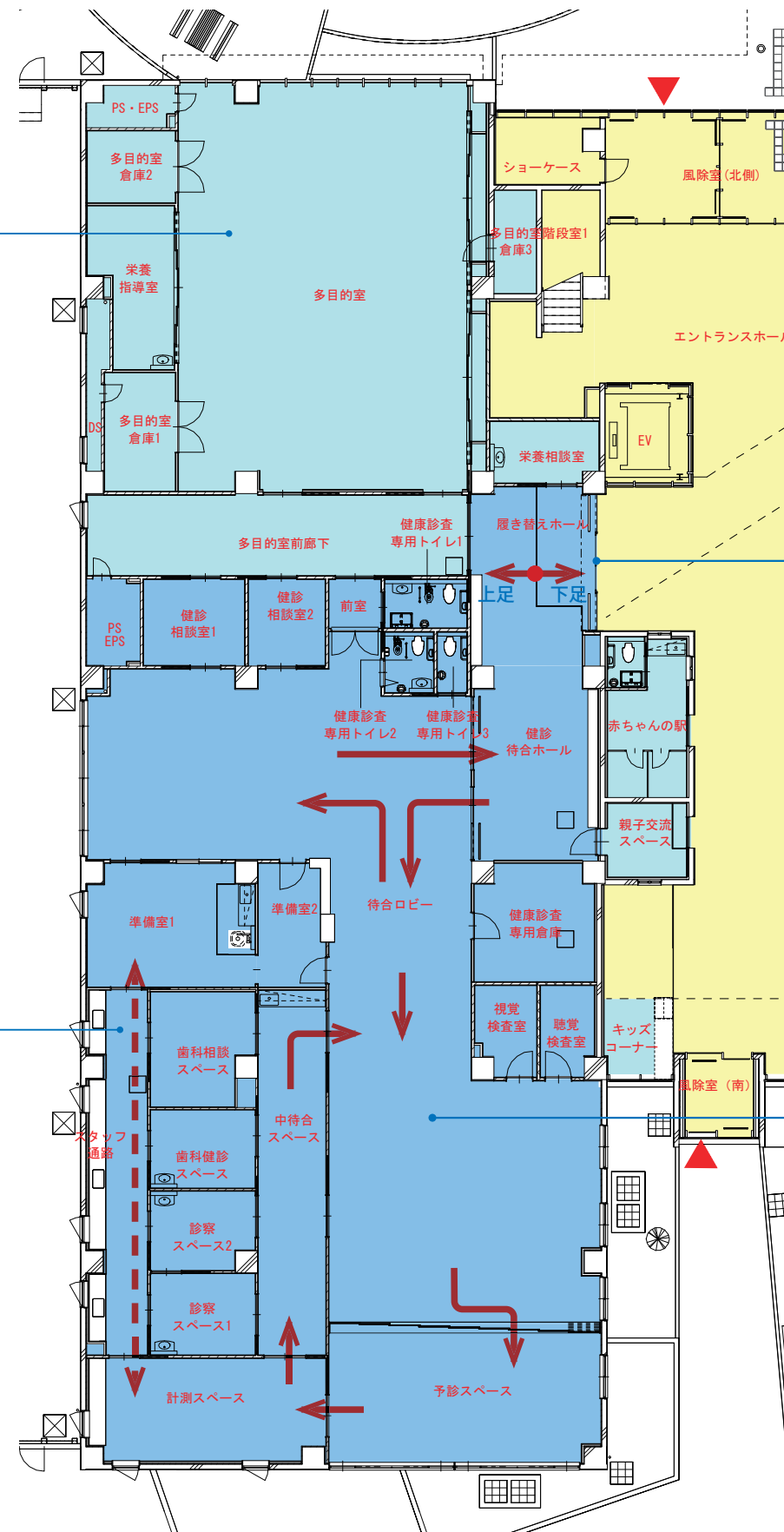
多目的室

運動教室等が楽しく安全に実施できるよう着地時や万が一の転倒の際にも衝撃を吸収できる床材を使用

動線分離

スタッフの専用動線を確保し、効率的に健診を実施できる計画

→ : 受診者動線
 - - - : 職員動線



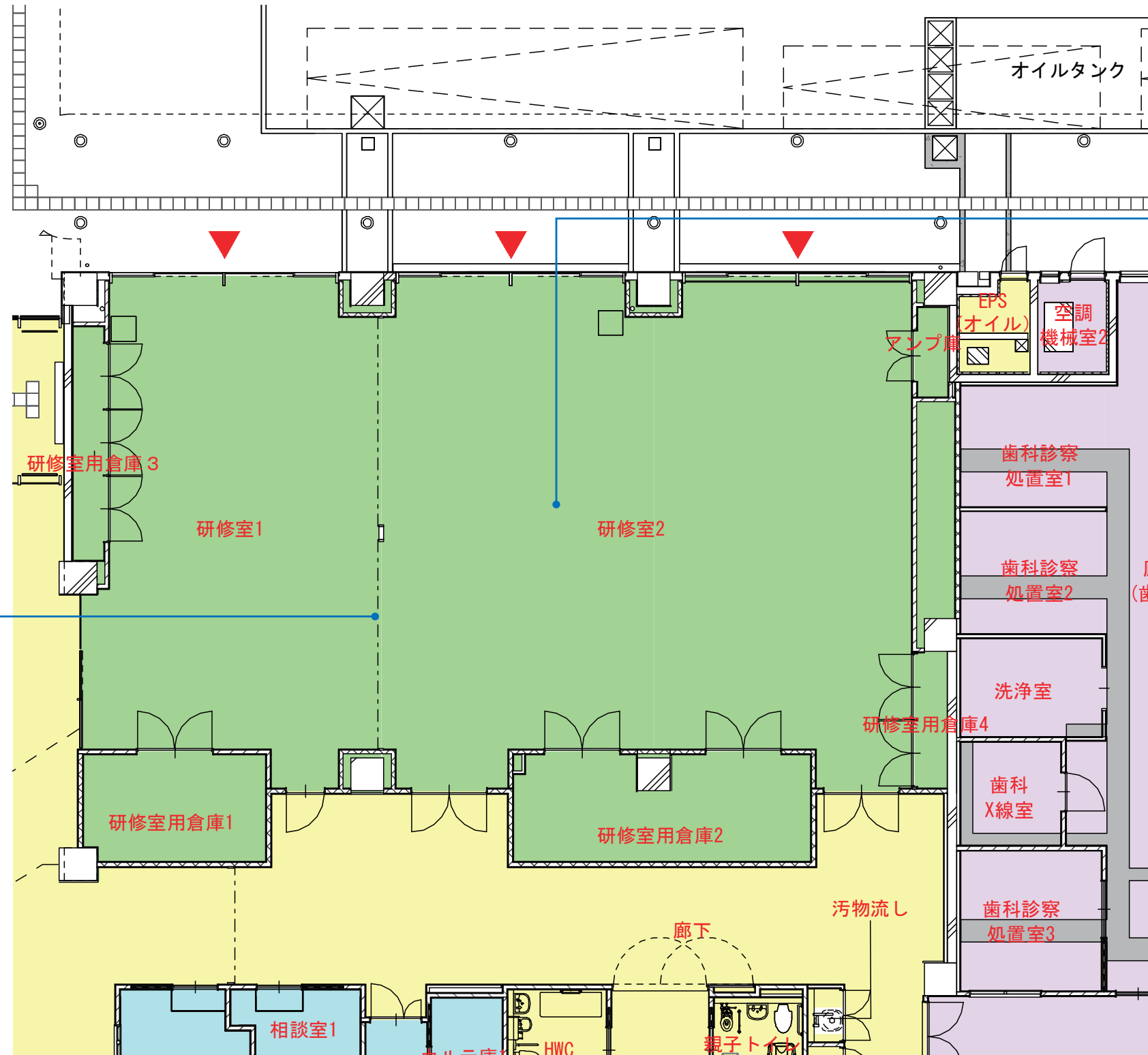
履き替えホール

靴を脱いで活動する場所となる多目的室と健診エリアの出入口を集約する段差のない履き替えホール

待合ロビー

一定の面積を確保した広がりのある待合ロビーと予診スペースは健診時間外において様々な教室に利用できる計画

健診エリア平面図 S=1/250



研修室

研修室を一体で利用した場合、最大 200 人程度の講習が可能となる。
 大規模災害発生時には、駐車場等外部空間と連携して市職員と三師会関係者による医療災害対策本部を速やかに設置できる計画

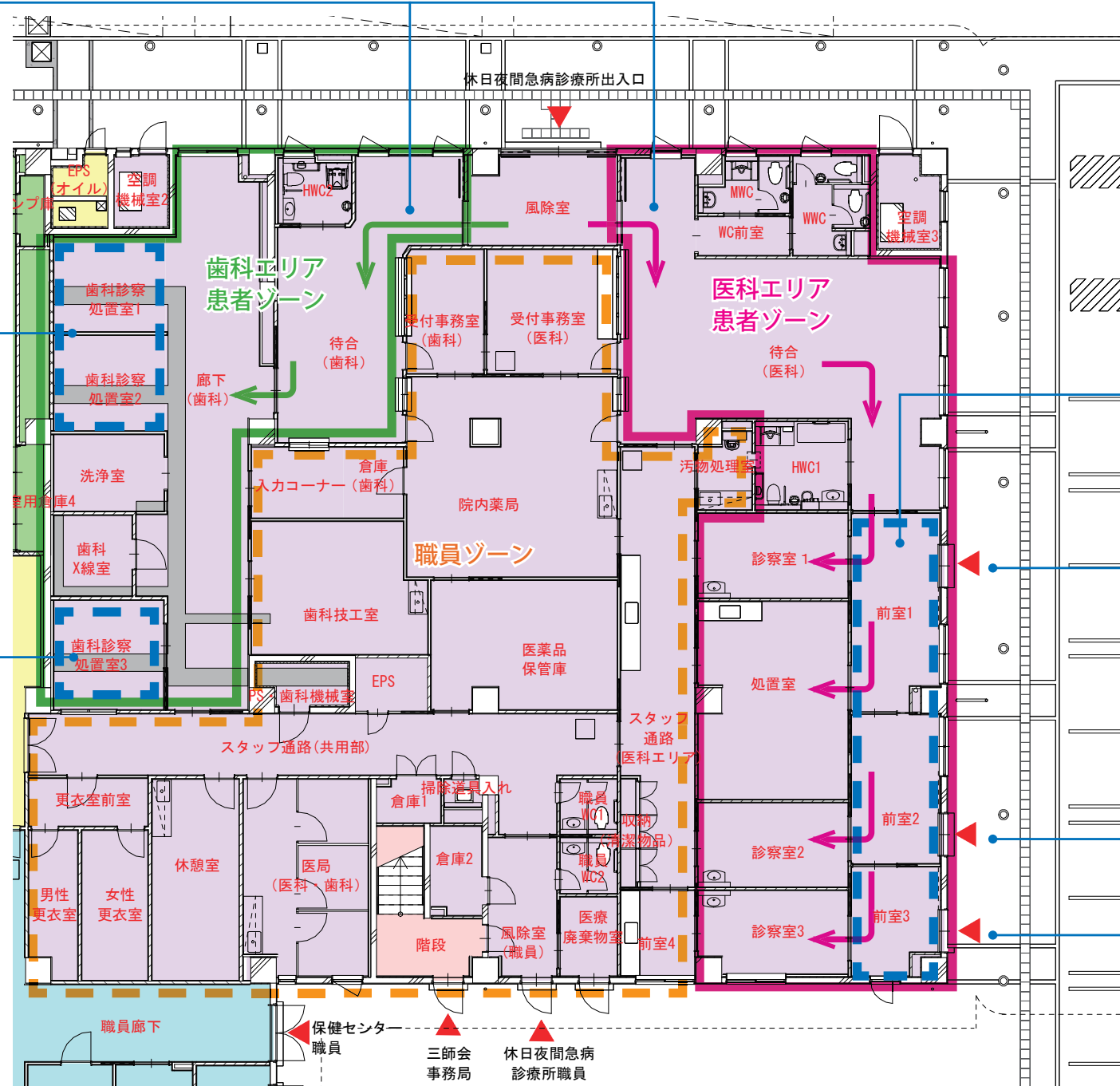
研修室を二つに分割する可動間仕切壁は操作性のよい電動間仕切壁を採用し、各種教室等に利用しやすい設備を計画

研修室平面図 S=1/150

明快なゾーン分け

外周部に患者ゾーン、内側に職員ゾーンを集約配置する
感染対策にも配慮した効率的な計画

- : 医科エリア 患者ゾーン
- : 歯科エリア 患者ゾーン
- : 医科エリア 患者動線
- : 歯科エリア 患者動線
- : 職員ゾーン

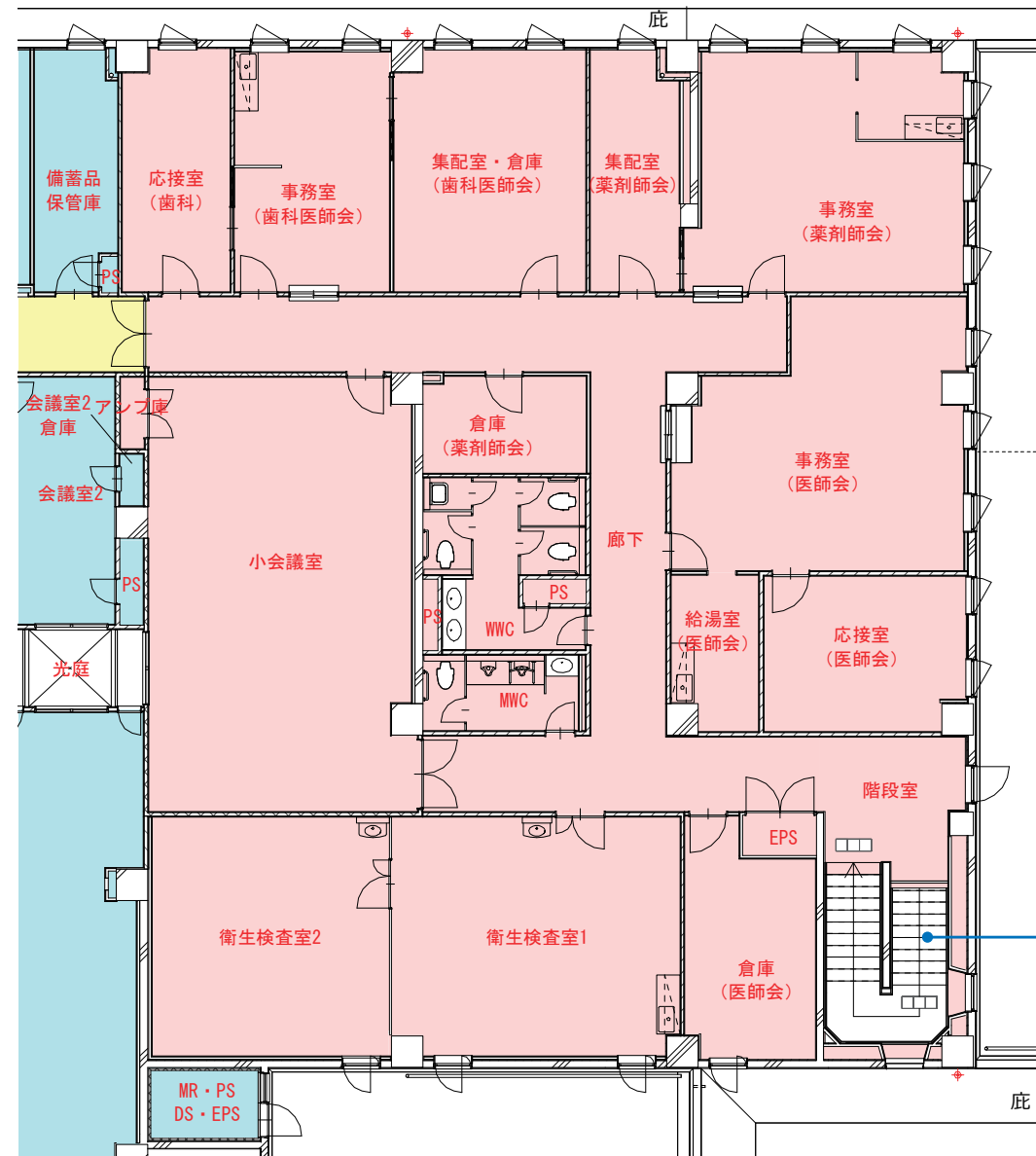


三室の歯科診察処置室のうち一室は、
障害者歯科診療にも対応した個室として整備

感染症の拡大の状況にあわせて
診察室を解放できる計画

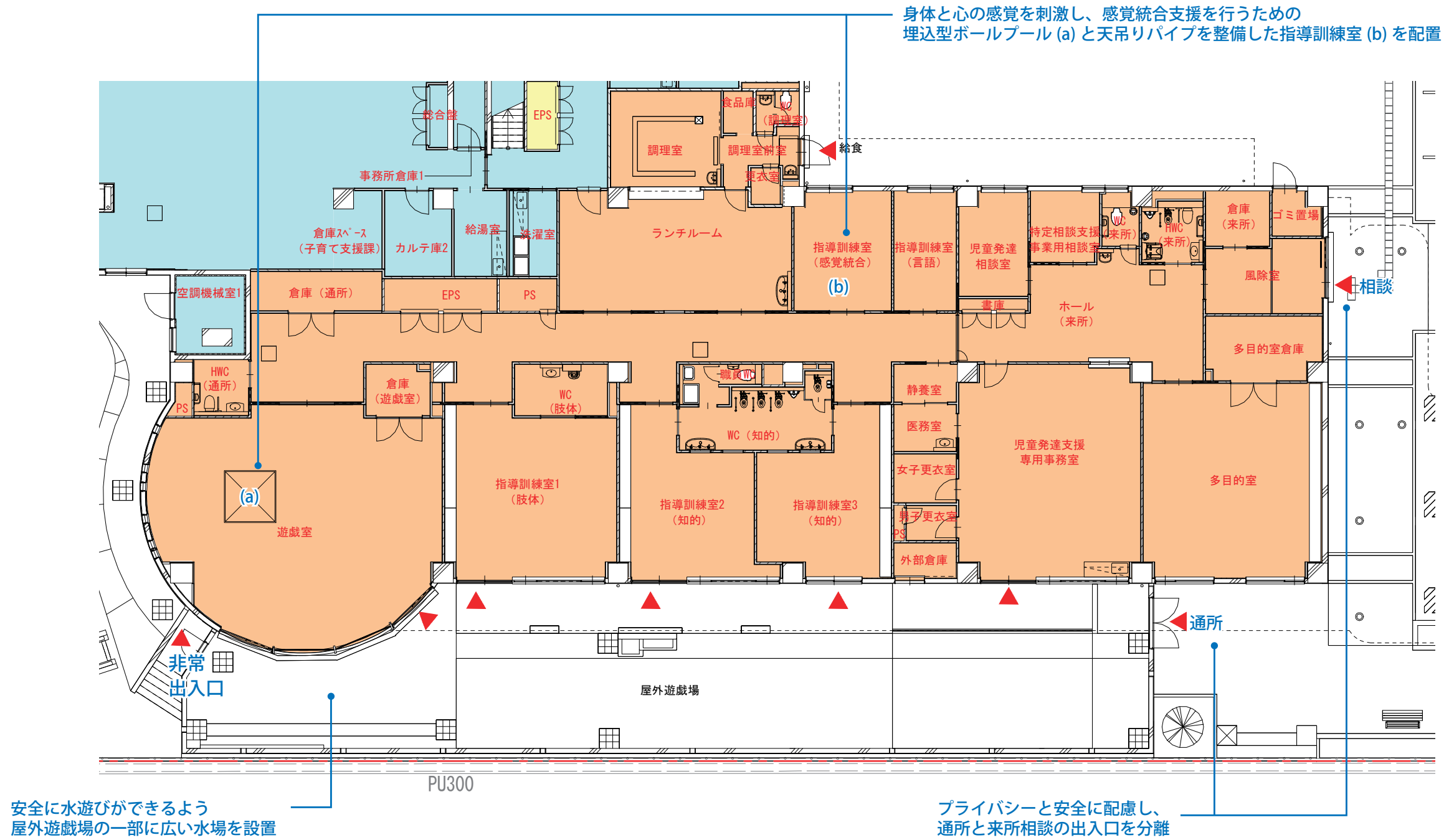
感染疑いのある患者を診察室でも
外部のドライブスルー診察エリアでも
診察できる出入口を設置

休日夜間急病診療所平面図 S=1/200

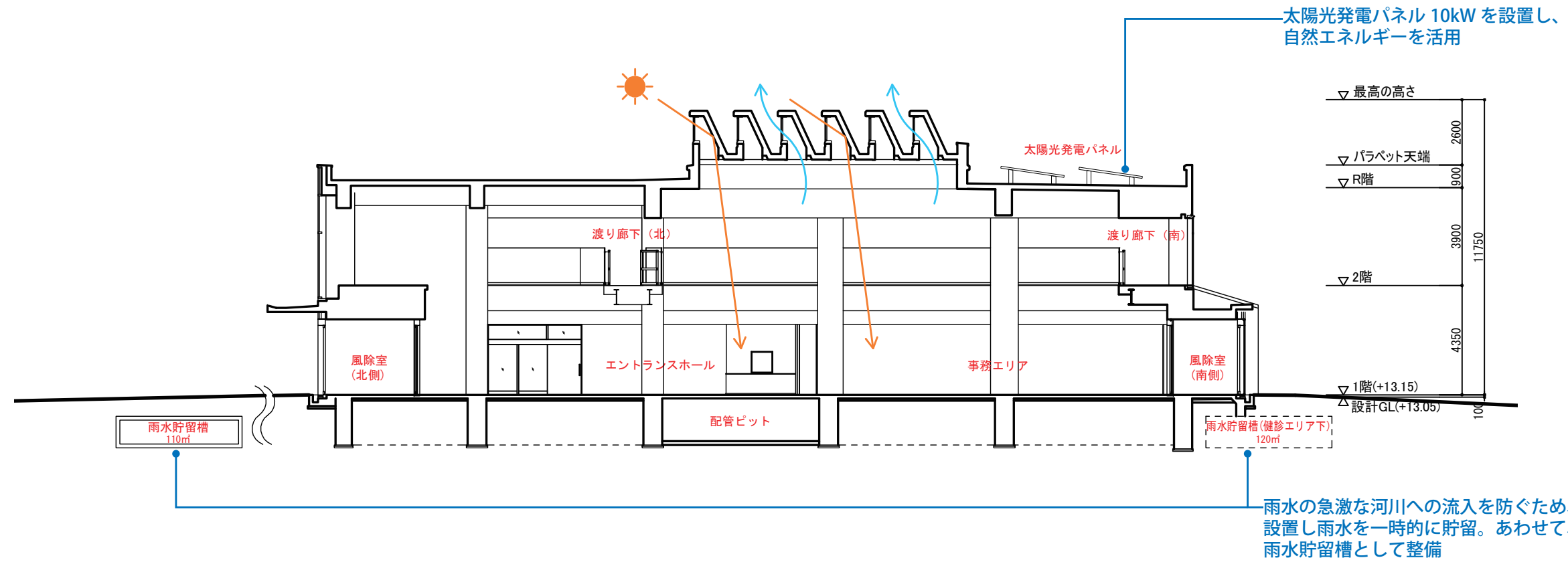


専用階段により、三師会事務局と
休日夜間急病診療所へのアクセスを
スムーズにする計画

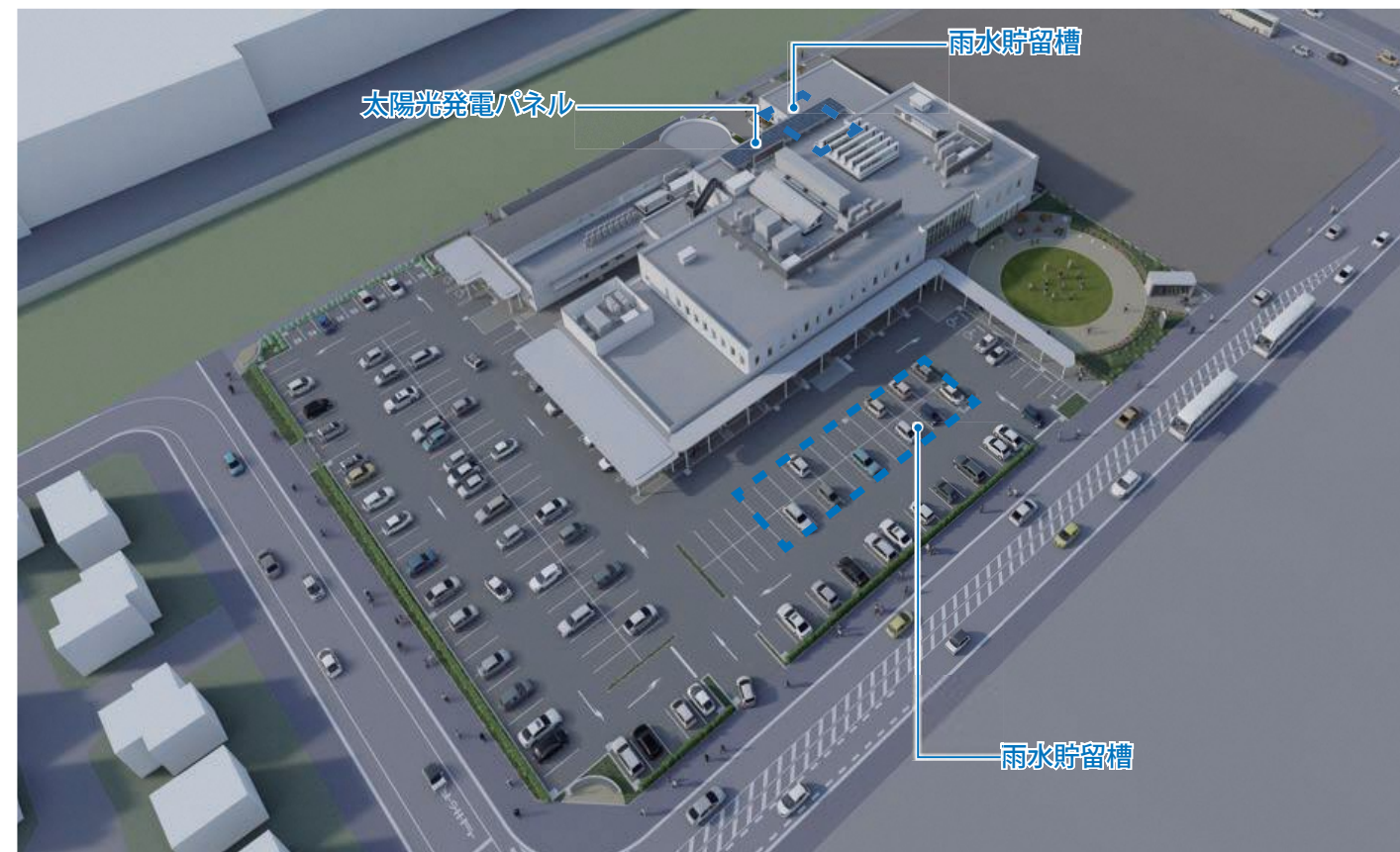
三師会事務局平面図 S=1/200



児童発達支援センター平面図 S=1/200



断面図 S=1/200



北東側鳥瞰イメージ

建築の仕様等

耐震安全上の分類

- a 構造体：I 類
- b 建築非構造部材：A 類
- c 建築設備：甲類

耐火・準耐火

耐火建築物

昇降機

1 台／ストレッチャー搬送対応

電気設備

受変電設備、照明設備など

発電設備

非常用発電機（燃料 72 時間分、A 重油 5,000 ℓ）

機械設備

太陽光発電設備（10kW）

給排水設備

空冷ヒートポンプパッケージ方式、換気設備など

想定事業費の見直し

受水槽（加圧給水方式）、雨水貯留槽など

物価上昇等の社会情勢を考慮して、基本計画で想定した事業費を精査しました。

（単位：億円）

	基本計画 想定事業費	物価上昇等	①+②
	①	②	
建設コスト	26.3	6.9	33.2
外構コスト	1.5	0.5	2.0
合計	27.8	7.4	35.2

※②物価上昇等は、基本計画から建設工事発注時までの物価上昇分に加え、別途積算基準改定による増額分を含みます。

基本設計からの主な変更

A：変更項目

- ・ 庇の形状、面積の見直し（811.29㎡→580.28㎡）
- ・ エントランスホール間口の縮減（10m → 9m）
- ・ 外壁仕様の見直し（タイル→吹付）
- ・ 勾配屋根を陸屋根に形状変更
- ・ 一部天井を直天井化
- ・ 床仕上げ仕様変更（床組→クッション性床仕上げ材）
- ・ 1 階階高の見直し（4,500mm→4,350mm）

B：追加項目

- ・ 整地工事の追加
- ・ 太陽光発電設備の追加
- ・ 無電柱化の実施

建設工事費

約 38 億 4,000 万円

（単位：億円）

	実施設計額		
	変更後 A	追加 B	A+B
建設コスト	32.4	3.1	35.5
外構コスト	2.7	0.2	2.9
合計	35.1	3.3	38.4

事業工程

令和 6 年 6 月から建設工事を進め、令和 7 年度内に完成予定です。

供用開始は、建設工事完了後必要な備品の整備、スタッフの研修・訓練等を経て、令和 8 年度前半を予定しています。

発行

豊川市総合保健センター（仮称）設計説明書（令和 6 年 2 月作成）

豊川市子ども健康部保健センター

〒442-0879 愛知県豊川市萩山町 3 丁目 77 番地の 1、77 番地の 7

TEL：0533-89-0610 FAX：0533-89-5960